

LAUNCHPAD

MK2 プログラマーリファレンスマニュアル

バージョン 1.02
Lottie Thomas 著

FFFA001298-03

© Focusrite Audio Engineering LTD

目次

本ガイドについて	3
ナンバーシステムと <i>MIDI</i> コンベンション	3
<i>Max</i> ユーザーの方	3
ブートローダー	4
基本機能	5
基本通信	5
カラー	5
レイアウト	6
チャンネル	8
フラッシュ点灯	9
パルス点滅	10
デバイス照会	10
さらに高度な機能	11
<i>SysEx</i> メッセージを使用して <i>LED</i> を点灯させる	11
<i>RGB</i> モード	12
<i>MIDI</i> クロック	12
バーチャルフェーダー	13
テキストスクロール	14
システムエクスクルーシブメッセージ	15
その他の <i>SysEx</i> メッセージ	16

本ガイドについて

Launchpad MK2 は、USB を介して双方向に MIDI 通信を行います。MIDI 通信フォーマットについて説明している本マニュアルには、Launchpad Mk2 用にカスタマイズされたソフトウェアに必要な全ての情報が掲載されています。

認証やリモートファームウェアのアップグレードに使用されるいくつかのシステムエクスクルーシブメッセージに関しては本マニュアルでは網羅されていませんが、Launchpad Mk2 の使用中に目にした場合のために、存在だけでも認識しておくとい良いでしょう。

ナンバーシステムと MIDI コンベンション

本ガイドでは、3 つの方法で MIDI データを表現します。1 つ目は、メッセージをプレーンイングリッシュで表したものです。ノートに関して記述を行う場合、中央 C を「C3」またはノート 60 として示します。MIDI チャンネル 1 が最も低い番号の MIDI チャンネルとみなされ、チャンネルの範囲は 1～16 となっています。

MIDI メッセージは、10 進数と 16 進数を使用したプレーンデータとしても表されます。16 進数には必ず後ろに「h」がつき、括弧の中に 10 進数の同等値が記載されます。例えば、チャンネル 1 のノート ON メッセージは、ステータスバイト 90h (144) といった形で示されます。

Max ユーザーの方

Cycling 74 Max ソフトウェアを使用して MIDI データを処理および操作したい方のために、チュートリアルパッチのセットが用意されています。これにより、Max 環境で Launchpad MK2 の多くの機能と能力をデモンストレーションすることができます。

Max のランタイムバージョンは www.cycling74.com よりご利用ください。

ブートローダー

Launchpad MK2 には、ユーザーが特定の設定を構成して保存できるブートローダーモードが搭載されています。ブートローダーにアクセスするには、本体を接続しながら、**Session**、**User 1**、**User 2**、**Mixer** ボタンを押します。図 1 にブートローダーの機能が示されています。

Launchpad Mk2 のデバイス ID を設定する際には、上 2 行の四角いボタンを使用します。デバイス ID の範囲は 1～16 で、選択された ID はオレンジ色のボタンで示されます。これは、69h～78h の範囲の USB ID も設定します。

次の 2 行では、**User 1** および **User 2** レイアウトの通信チャンネルを設定します。行 3 では **User 1**（チャンネル 1 - 8）が、行 4 では **User 2**（チャンネル 9 - 16）が示されます。選択できないチャンネルも存在し、暗い赤に点灯するボタンによって示されます。選択可能なチャンネル（**User 1** では 6 - 8、**User 2** では 14 - 16）は暗い青に点灯するボタンで示されます。選択されたチャンネルは、明るい青のボタンで示されます。

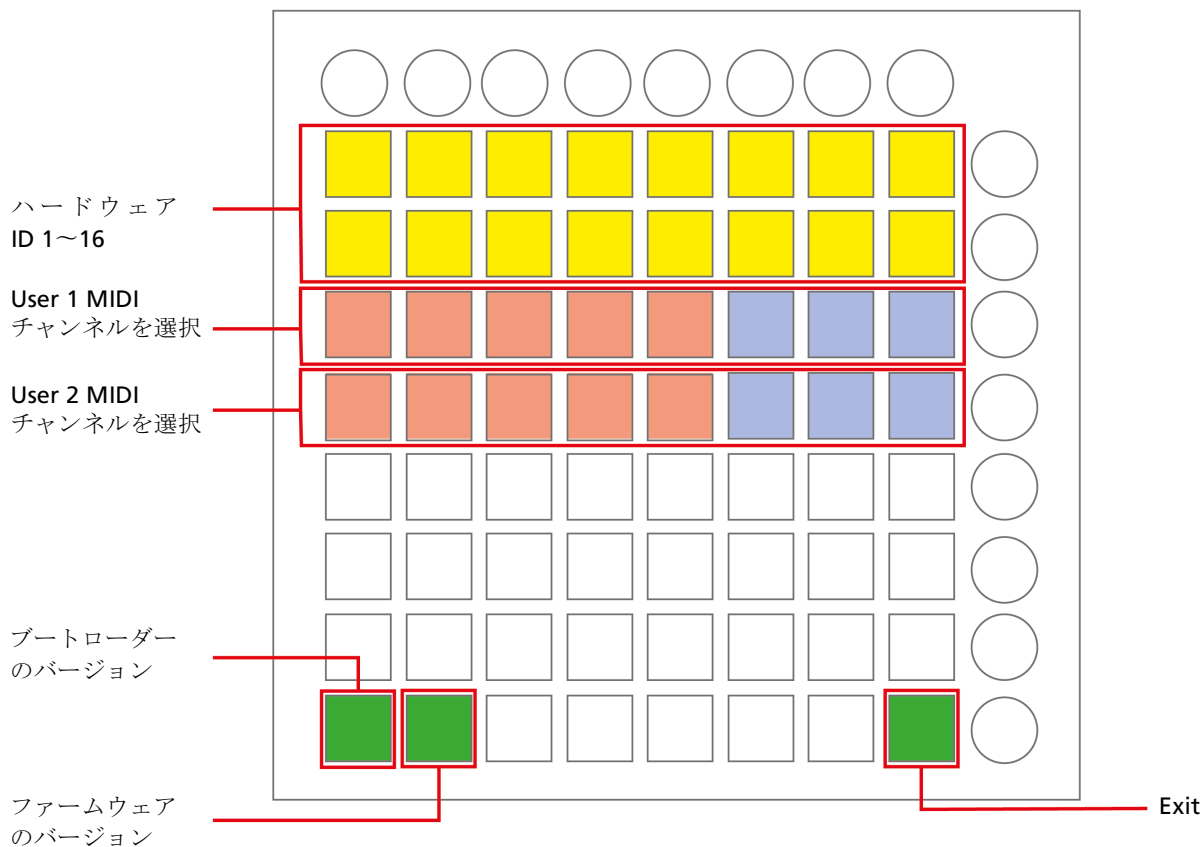


図 1：ブートローダーの機能

基本機能

基本通信

中央グリッドの **64** の四角いボタンと右側の **8** つの丸いボタンはホストにノートデータを送信します。ボタンを押すとノート **On** メッセージが最大ベロシティで送信され、ボタンから指を離すとベロシティ **0** のノート **On** メッセージが送信されます。

ノート **On** メッセージを使用して、それぞれのボタン下に搭載された **LED** を点灯させることもできます。ノート **On** メッセージのベロシティによって、**LED** の色が決定されます。ベロシティが **0** のノート **On** メッセージの場合、またはベロシティに関わらずノート **Off** メッセージの場合には、**LED** が消灯します。

上部に並んだ丸ボタンはコントロールチェンジメッセージをホストに送信します。この場合コントロール番号がボタンのアドレスとなります。ボタンを押すと **7Fh (127)** の値でコントロールチェンジメッセージが送信され、ボタンから指を離すと **0** の値が送信されます。同じように、コントロールチェンジメッセージが受信されると点灯し、**LED** の色はコントローラー値によって決定されます。



Max パッチ : LPMK2_Basic_Communication.maxpat

このパッチは **Launchpad MK2** と送受信を行う基本メッセージを導入し、各メッセージを分解してコンソールウィンドウに表示します。**Session**、**User 1**、**User 2** レイアウトも表示されます。

カラー

Launchpad Mk2 には、図 2 のように **128** 色のカラーパレットが備わっています。カラー **0** は **LED** を消灯させます。



図 2 : Launchpad MK2 カラーテーブル



Max パッチ : LPMK2_Colours.maxpat

このパッチでは、**Launchpad MK2** 全体を様々な色で点灯させる **2** つの方法が提供されます。

レイアウト

Launchpad MK2 にはノートメッセージに応答する 3 つのレイアウト - **Session**、**User 1**（ドラム）、**User 2** が備わっています。ボリュームおよびパンレイアウトに関しては、本ガイドの「さらに高度な機能」セクションで説明しています。

■ ボタンレイアウトの変更

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 22h <Layout> F7h
(240,0, 32, 41, 2, 24, 34, <Layout>,247)

レイアウトバイトは以下の通りです：

00h – Session
01h – User 1（ドラムラック）
02h – User 2
03h –（Ableton Live 用に用意）
04h – ボリューム
05h – パン

レイアウトは、ボタンが送受信する MIDI ノート番号を決定します。レイアウト 0 は **Session** レイアウトとなり、Launchpad MK2 をグリッドとして使用するソフトウェアを作成する場合に最適なレイアウトです。1 を加えることで 1 つのボタンを右に移動させ、10 を加えることで 1 つのボタンを上を移動させたりと、足し算や引き算によりナビゲートを簡単に行えるためです。

レイアウト 1 は **User 1** またはドラムレイアウトとなり、Launchpad MK2 にサンプルをローンチさせたり、音楽 MIDI に対処させる必要がある場合に理想のレイアウトとなります。

レイアウト 2 は **User 2** となり、**Session** と同じものになります。

図 3 では 16 進数で、図 4 では 10 進数で、図 5 ではノート名でこれらのレイアウトを示しています。各図では、C は赤、F は青で示されています。



図 3 : Session (L) およびドラム (R) レイアウト (16 進数)

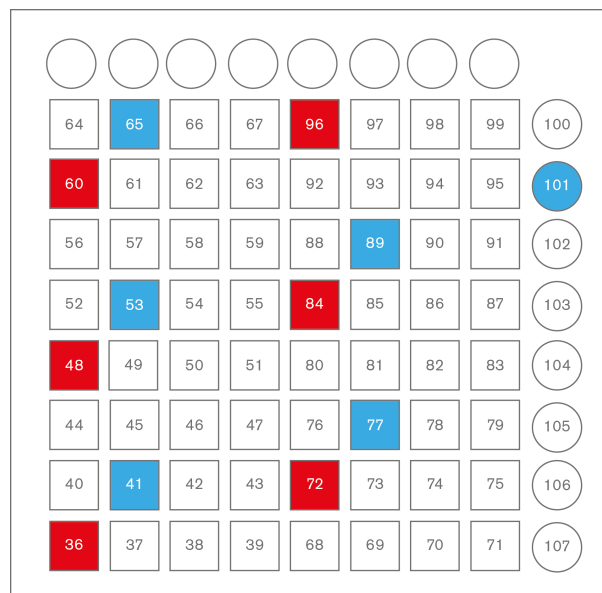
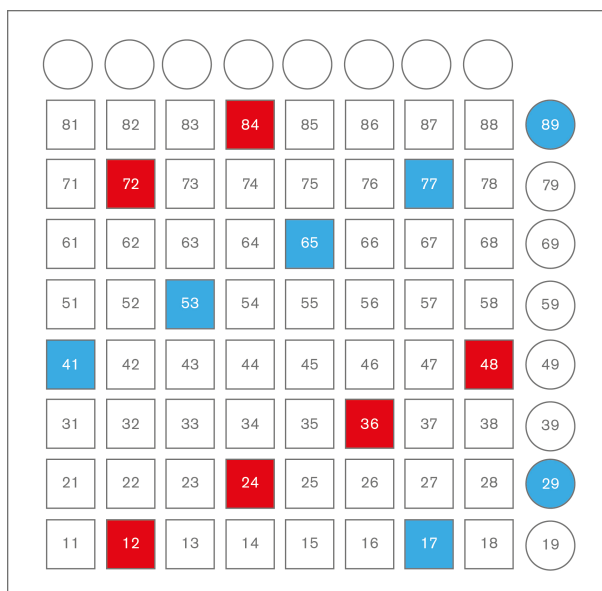


図 4 : Session (L) およびドラム (R) レイアウト (10 進数)

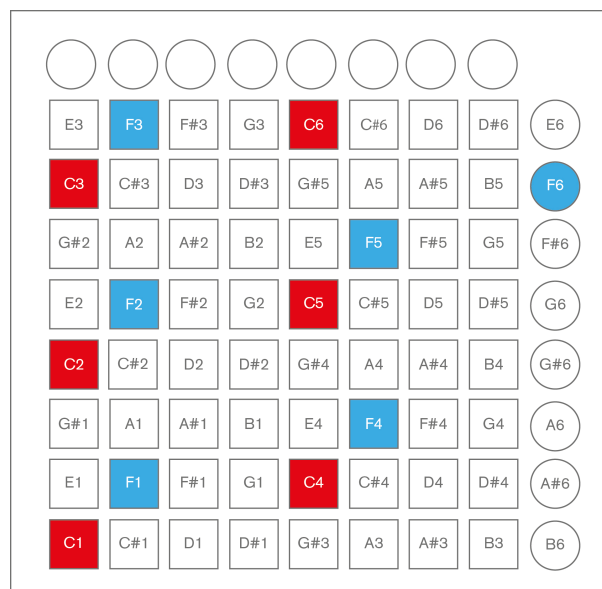
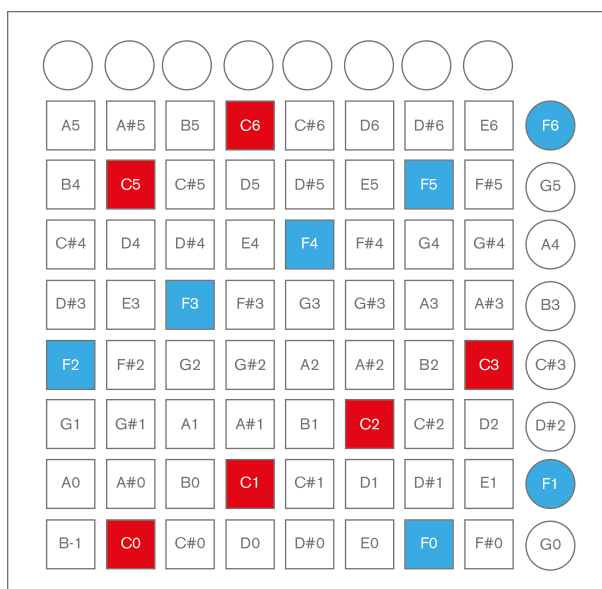


図 5 : Session (L) およびドラム (R) レイアウト (ノート名)

上部丸ボタン列のコントローラ番号はレイアウトによって変化することはない、図 6 のように常に 68h~6Fh (104 – 111) となります。



図 6 : 16 進数 (上) および 10 進数 (下) における最上列コントローラ番号

チャンネル

1 つのレイアウトメッセージが他のレイアウトに干渉することを防ぐために、レイアウトはそれぞれ異なるチャンネルでメッセージを送受信します。**Session** レイアウトはチャンネル 1 を使用します。

- 例 : **Session** レイアウトで左上のグリッドの LED を青く点灯させる場合

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 1 : ノート On A5/51h (81)、ベロシティ 2Dh (45)
90h 51h 2Dh (144, 81, 45)

- 例 : **Session** レイアウトで左カーソルの LED をピンクで点灯させる場合

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 1 : コントローラを 6Ah (106) から 35h (53) に設定
B0h 6Ah 35h (176, 106, 53)

User 1/User 2 レイアウトはブートローダーで選択されるチャンネルを使用します。

- 例 : **User 1** レイアウトでチャンネルを 8 に設定して一番左下から 2 番目の LED をオレンジで点灯させる場合

ホスト >> Launchpad MK2: チャンネル 8 : ノート On E2/28h (40)、ベロシティ 09h (9)
97h 28h 09h (151, 40, 9)

- 例 : チャンネルを 14 に設定し **User 2** レイアウトで **Mixer LED** を黄色に点灯させる場合

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 14 : コントローラを 6Fh (111) から 0Dh (13) に設定
BDh 6Fh 0Dh (189, 111, 13)

フラッシュ点灯

Launchpad MK2 では、3 つ全てのレイアウトで 2 色のフラッシュ点灯に対応しています。チャンネル 2 でデバイスにノート On メッセージ（上部 8 つの丸ボタンでは CC）を送信することで点滅色を設定できます。チャンネル 2 でメッセージを受信すると、Launchpad MK2 上で点滅色（B）と LED の現在色（A）が 50%のデューティ比でフラッシュ点灯を行います。MIDI ビートクロック（以下「MIDI クロック」を参照）の最後のテンポに合わせて、またはデフォルトの 120bpm に合わせてフラッシュ（パルス）点灯を行います。

フラッシュ点灯は、チャンネル 1 で LED にメッセージを送信すると停止します。

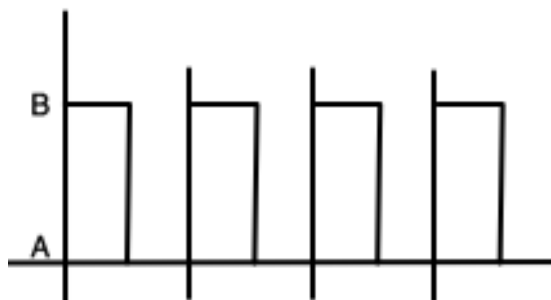


図 7: フラッシュ波形

- 例：1つのパッドを赤とオフでフラッシュ点灯させる場合（Session レイアウト）

LED を全てオフにし、一番左下の LED を赤とオフでフラッシュ点灯させます。

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 2 : ノート On B-1/0Bh (11)、ベロシティ 05h (5)
91h 0Bh 05h (145, 11, 5)

LED が赤とオフでフラッシュ点灯を行い、シーケンスは赤から始まります。

フラッシュ点灯を停止して **LED** をオフにする場合には、以下を行います：

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 1 : ノート On B-1/0Bh (11)、ベロシティ 00h (0)
90h 0Bh 00h (144, 11, 0)

- 例：1つのパッドを赤と緑でフラッシュ点灯させる場合（Session レイアウト）

LED を全てオフにし、一番左下の LED を緑に点灯させます。

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 1 : ノート On B-1/0Bh (11)、ベロシティ 15h (21)
90h 0Bh 15h (144, 11, 21)

点滅色を赤に設定すると、フラッシュ点灯が始まります。

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 2 : ノート On B-1/0Bh (11)、ベロシティ 05h (5)
91h 0Bh 05h (145, 11, 5)

LED が赤と緑でフラッシュ点灯を行い、シーケンスは赤から始まります。

フラッシュ点灯を停止して LED を青にする場合には、以下を行います：

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 1 : ノート On B-1/0Bh (11)、ベロシティ 2Dh (45)
90h 0Bh 2Dh (144, 11, 45)

パルス点滅

Launchpad MK2 は、図 8 で示されているように LED 色がリズムカルに明るくなったり暗くなったりするパルス点滅に対応しています。チャンネル 3 で LED に ノート On メッセージ（または上部 8 つの丸ボタンには CC）を送信することでパルス点滅が開始され、チャンネル 1 で LED にメッセージを送信することで停止できます。

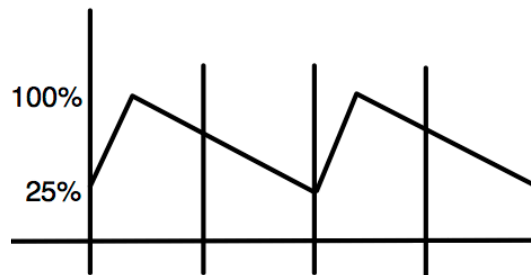


図 8 : パルス波形

■ 例 : 1 つのパッドを紫でパルス点滅させる場合 (Session レイアウト)

LED を全てオフにし、一番右上のグリッド LED を紫にパルス点滅させます。

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 3 : ノート On E6/58h (88)、ベロシティ 51h (81)
92h 58h 51h (146, 88, 81)

パルス点滅を停止して LED をオフにする場合には、以下を行います :

ホスト >> Launchpad MK2 : チャンネル 1 : ノート On E6/58h (88)、ベロシティ 00h (0)
90h 58h 00h (144, 88, 00)



Max パッチ : LPMK2_Flashing.maxpat

このパッチではフラッシュ/パルス点灯を導入し、スタティック（動き無し）、フラッシュ、パルスモードに設定できます。パッドを押すと、ランダムな色で選択されたアクションを行います。テンポの変更も可能です。

デバイス照会

Launchpad Mk2 は MIDI 仕様のデバイス照会メッセージに応答します。

■ デバイス照会

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 7Eh 7Fh 06h 01h F7h
(240,126,127, 6, 1, 247)

Launchpad MK2 は以下のように応答します :

Launchpad MK2 >> ホスト :

F0h 7Eh <デバイス ID> 06h 02h 00h 20h 29h 69h 00h 00h 00h <ファームウェアリビジョン 4 バイト> F7h
(240,126, <デバイス ID>, 6, 2, 0, 32, 41, 105, 0, 0, 0, <ファームウェアリビジョン 4 バイト>, 247)

ファームウェアリビジョン番号は 4 バイトごとに示されます。リビジョン 138 は 00h, 01h, 03h, 08h と表されます。

さらに高度な機能

SysEx メッセージを使用して LED を点灯させる

SysEx メッセージを使用して Launchpad Mk2 の LED をコントロールすることが可能です。これにより、1 つのメッセージで複数の LED をすばやくアップデートできます。現在の Launchpad MK2 のレイアウトに関わらず、LED のインデックスは Session レイアウトと同じように扱われます。上部 8 つの丸ボタンは 68h~6Fh (104-111) のインデックスが振られます。

▪ SysEx を使って LED を点灯させる

ホスト >> Launchpad Mk2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 0Ah <LED> <Colour> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 10, <LED> <Colour> 247)

メッセージは最大 80 回リピートできます。

▪ SysEx を使用して LED の列を点灯させる

列には左から右に 0 - 8 の番号がつけられています。

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 0Ch <Column> <Colour> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 12, <Column> <Colour> 247)

メッセージは最大 9 回リピートできます。

▪ SysEx を使用して一行の LED を点灯させる

行には下から上に 0 - 8 の番号が付けられます。

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 0Dh <Row> <Colour> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 13, <Row> <Colour> 247)

メッセージは最大 9 回リピートできます。

▪ SysEx を使用して全ての LED を点灯させる

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 0Eh <Colour> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 14, <Colour> 247)

メッセージはリピートできません。

- **SysEx** を使用して **LED** をフラッシュ点灯させる

LED は選択された色と現在の色でフラッシュ点灯を行います。

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 23h <LED> <Colour> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 35, <LED> <Colour> 247)

メッセージは最大 80 回リピートできます。

- **SysEx** を使用して **LED** をパルス点滅させる

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 28h <LED> <Colour> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 40, <LED> <Colour> 247)

メッセージは最大 80 回リピートできます。

RGB モード

LED カラーの三要素、赤、緑、青の明度をそれぞれコントロールすることで、任意の色を作成できます。各要素には 00h - 3Fh (0 - 63) の明度値があり、0 の場合 OFF となり、3Fh の場合には最も明るくなります。

- **SysEx** を使用して **LED** を点灯させる (RGB モード)

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 0Bh <LED>, <Red> <Green> <Blue> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 11, <LED>, <Red> <Green> <Blue> 247)

メッセージは最大 80 回リピートできます。

MIDI クロック

デフォルトでは、Launchpad Mk2 は 120BPM でフラッシュおよびパルス点灯を行います。これを変更する場合、Launchpad Mk2 に F8h (248) メッセージ (MIDI クロック) を 24/拍のレートで送信します。100BPM にテンポを設定する場合、毎分ごとに 2400 の MIDI クロックメッセージを、または 25 ミリ秒の隔で送信します。

Launchpad Mk2 が対応しているテンポは 40～240 BPM です。

バーチャルフェーダー

Launchpad MK2 には、ボリュームスタイルのものとパンスタイルのものと 2 種類のバーチャルフェーダーモードが備わっています (2 つのスタイルはミックスできません)。フェーダーモードでは、グリッドが CC メッセージで制御可能な 8 つのフェーダーとして機能します。

フェーダーモードに切り替える場合にはレイアウト変更 SysEx メッセージを使用し、ボリュームフェーダーはレイアウトバイトを 04H (4) に設定し、パンフェーダーは 05H (5) に設定します。

■ ボタンレイアウトの変更

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 22h <Layout> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 34, <Layout> 247)

いずれかのフェーダーレイアウトを選択した後、フェーダーを初期化する必要があります。

■ フェーダーの初期化

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 2Bh <Number> <Type> <Colour> <Value> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 43, <Number> <Type> <Colour> <Value> 247)

メッセージは最大 8 回リピートできます。

Number - 左から右に番号が付けられたフェーダーのインデックス、00h-07h (0 - 7)

Type - Fader (00h) または Pan (01h)これは選択したレイアウトと一致させる必要があります

Colour - 00h - 7Fh (0 - 127)

Value - フェーダーの初期値 00h - 7Fh (0 - 127)

フェーダーはボリュームフェーダーの現在値に従って下から上へと点灯します。パンフェーダーは中央から外側へと点灯します。

フェーダーのレベルは、Launchpad MK2 にコントロールチェンジメッセージを送信することで設定できます。フェーダーのコントローラ番号 (両レイアウト) は左から右に 15h - 1Ch (21 - 28) となり、コントローラ値によってフェーダーのレベルが設定されます。レベルが LED のスレッシュホールド値以上の場合、各 LED が点灯します。

ボタンを押してフェーダーのレベルを変更すると Launchpad MK2 のフェーダーがその位置に移動され、その間の値を送信することで滑らかなトランジションを与えます。



Max パッチ : LPMK2_Faders.maxpat

このパッチはフェーダーモードを使用してスペクトラムアナライザーを作成します。音楽が読み込まれると、フェーダーが 8 つの周波数帯域のレベルに応じて移動します。

テキストスクロール

Launchpad Mk2 はテキストスクロールに元々対応しており、**ASCII** テキストをシステムエクスクルーシブメッセージに埋め込むことができます。色、ループ、速度の変更のための追加的なバイトが用意されています。

■ テキストスクロールの開始

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 14h <Colour> <Loop> <Text> F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 20, <Colour> <Loop> <Text> 247)

Colour - スクロールテキストカラー 00h – 7Fh (0 – 127)

Loop - 01h (1) に設定しメッセージをループ

標準 **ASCII** コードに加え、Launchpad Mk2 は速度コマンドとしてプレーン値 **1 - 7** を認識します (1 が最も遅い値を示し、7 が最も速い値を示します)。これにより、テキストをスクロールする速度を操作できます。デフォルトの速度は **4** となっています。

テキストが終了すると、Launchpad Mk2 は **LED** を直前の設定に復元します。テキストが終了またはループすると、ホストに **SysEx** メッセージが戻されます。

Launchpad MK2 >> ホスト : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 15h F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 21, 247)

■ 例 : hello world

テキストのスクロールを開始します。

ホスト >> Launchpad MK2 :
F0h 00h 20h 29h 02h 18h 14h 7Ch 01h 05h 48h 65h 6Ch 6Ch 6Fh 20h 02h 77h 6Fh 72h 6Ch 64h 21h F7h

(240, 0, 32, 41, 2, 4, 20, 124, 1, 5, 72, 101, 108, 108, 111, 32, 2, 119, 111, 114, 108, 100, 33, 247)

この場合、黄色のテキストで「Hello」を素早く、「world!」をゆっくりと再生させループさせます。停止する場合には、空のスクロールコマンドを送信します。

ホスト >> Launchpad MK2 : F0h 00h 20h 29h 02h 18h 14h F7h
(240, 0, 32, 41, 2, 24, 20, 247)



Max パッチ : LPMK2_Scrolling.maxpat

このパッチはテキストスクロールを導入し、色、ループバイト、メッセージを設定し、スクロールをトリガーします。

システムエクスクルーシブメッセージ

以下の各 SysEx メッセージは同じヘッダーを持ちます。

F0h 00h 20h 29h 02h 18h
(240, 00, 32, 41, 2, 24)

次に 6 番目のバイトが続き、メッセージによってはさらに値が続きます。全ての SysEx メッセージの末尾は以下のようになります：

F7h (247)

パラメータ名	6 番目のバイト	値 1	値 2	値 3	値 4	リピート	注記
LED の設定 (標準色モード)	0Ah (10)	LED 0Bh - 6Fh (11-111)	色 00h - 7Fh (0-127)	--	--	最大 80 回まで可	
LED の設定 (RGBモード)	0Bh (11)	LED 0Bh - 6Fh (11-111)	赤 00h - 3Fh (0-63)	緑 00h - 3Fh (0-63)	青 00h - 3Fh (0-63)	最大 80 回まで可	
列ごとの LED の設定	0Ch (12)	列番号 (0-8)	色 00h - 7Fh (0-127)	--	--	最大 9 回まで可	列には左から右へと番号が付けられます。
行ごとの LED の設定	0Dh (13)	行番号 (0-8)	色 00h - 7Fh (0-127)	--	--	最大 9 回まで可	行には下から上へと番号が付けられます。
全ての LED の設定	0Eh (14)	色 00h - 7Fh (0-127)	--	--	--	不可	色の値を 0 にすると、全ての LED がオフになります。
LED のフラッシュ点灯	23h (35)	モード (未使用、0)	LED 0Bh - 6Fh (11-111)	色 00h - 7Fh (0-127)	--	最大 80 回まで可	選択された LED は現在点灯している色と値 3 で指定された色でフラッシュ点灯します。選択された LED が点灯されない場合、オフと値 3 で指定された色でフラッシュ点灯します。

LED のパルス点灯	28h (40)	モード (未使用、0)	LED 0Bh - 6Fh (11-111)	色 00h - 7Fh (0-127)	--	最大 80 回まで可	選択された LED が値 3 で指定された色でパルス点灯します。
パッド上でのテキストスクロール	14h (20)	色 00h - 7Fh (0-127)	ループ 0 = ループオフ 1 = ループオン	テキスト	--	不可	速度を変更する場合テキストは標準 ASCII 文字またはプレイン値 1 - 7 となります。
レイアウト選択	22h (34)	レイアウト (0-5)	--	--	--	不可	00 - Session 01 - User 1 (ドラムラック) 02 - User 2 04 - フェーダー 05 - パン
フェーダー設定	2Bh (43)	フェーダー 番号 (0-7)	フェーダータイプ 0=ボリ ューム 1=パ ン	色 00h - 7Fh (0-127)	初期値 00h - 7Fh (0-127)	最大 8 回まで可	

その他の SysEx メッセージ

Launchpad Mk2 はさらに 3 つの SysEx メッセージに応答します。

デバイス照会	F0h 7Eh <デバイス ID> 06h 01h F7h (240, 126, <デバイス ID>, 6, 1, 247)	接続されたデバイスに関する情報を読み込みます。デバイス ID は 00h~0Fh とし、ブートローダーで選択された値と一致させる必要があります。デバイス ID が 7F の場合、デバイス ID に関わらず全ての Launchpad MK2 が応答します。
バージョン照会	F0h 00h 20h 29h 00h 70h F7h (240, 0, 32, 41, 0, 112, 247)	ブートローダーやファームウェアの現在のバージョン、ブートローダーのサイズ (KB) を戻します。
ブートローダーに設定	F0h 00h 20h 29h 00h 71h 00h 69h F7h (240, 0, 32, 41, 0, 113, 0, 105, 247)	Launchpad MK2 をブートローダーモードに設定します。